

第 31 回 伊豆の長八美術館

今年度、松崎町の漆喰文化の殿堂「伊豆の長八美術館」が創立 40 周年を迎えます。「伊豆の長八美術館」は、故依田敬一町長が、当時、若手で新進気鋭であった建築家の石山修武氏にまちづくりに対する思いを伝え、松崎町のまちの設計を依頼したものの一つです。松崎町に眠っていた漆喰文化を左官の名工、入江長八の鰻絵という芸術作品でスポットライトを当て、全国の左官職人に協力を仰ぎ、建設に至った町内唯一の美術館です。

1985 年には吉田五^{いそや}十八賞を受賞した建築物で、建築業界でも優れたデザインが認められた建造物です。当時の先輩職員の方々の苦勞話を聞いた時のことが、走馬灯のように思い出されました。

40 年たった今、時代が大きく変わりつつも先達の功績を残しつつ、伝統的な左官技術の素晴らしさを伝え、改めて松崎町における漆喰文化の継承を町内外に発信し、持続可能なまちづくりの起爆剤とするため、40 周年を記念したイベントが 7 月に予定されています。町民の皆さまにもぜひこの機会に美術館を訪れていただき、町の宝の一つであることを再認識いただけると幸いです。